

『地域経営計画書（後期計画）』の進捗状況について (平成24年度実績)

『地域経営計画書(後期計画)』は、まちづくりの10カ年構想である『高根沢町地域経営計画2006』のうち、後期5カ年(平成23年度～27年度)の行動計画書です。

厳密に言えば、『地域経営計画書(後期計画)』はまだ、本年度～平成27年度 of 取組みを残している状況ではありますが、新たに策定する地域経営計画(平成28年度以降)に向けた準備として、これまでの取組みの成果を総括するために、今回、進捗状況をとりまとめました。

施策の進捗状況

基準値

進捗状況

H27年度までに達成する目標値です。



1. 都市・生活基盤分野

NO.	施策	主な指標	H21	H24	目標値
1-1-1	快適な住環境の整備	(1)宝積寺駅西第一土地区画整理事業 区画道路築造(4,702m)の進捗率 (2)景観条例の制定 (3)地籍調査事業進捗率	(1)55.5% (2)未制定 (3)1,190ha	(1)59.0% (2)制定 (3)1,214ha	(1)100.0% (2)制定 (3)1,250ha
1-2-1	計画的な道路の整備と維持管理	幹線道路整備進捗率	62.5%	62.5%	91.6%
1-2-2	新たな手法による効率的な道路等の維持管理	道普請事業整備延長	10,300m (※H22)	12,184m	15,300m
1-3-1	デマンド交通を核とした魅力ある交通体系の確立	デマンド交通「たんたん号」年間利用者数	45,205人 (※H22)	48,759人	52,600人
1-4-1	災害に強い水道施設の整備	石綿セメント管更新整備率	47.2%	75.8%	100.0%
1-5-1	生活排水処理の整備普及	公共下水道汚水管整備計画面積 (宝積寺地区 全体面積 438ha)	223.6ha	242.2ha	280.0ha

【分野別達成状況の概要】

東日本大震災に係る復旧事業を優先した結果として、道路整備については一部事業の先送りを行ったことで、進捗に遅れが出ています。ただし、そのような被災状況下にあっても、水道(石綿セメント管の更新)や下水道(汚水管の整備)にあつては当初の目標を達成できています。限られた財源の中で、復旧事業とのバランスをとりながら、着実に計画が執行できていると判断しています。

区画整理事業については若干の遅れが出ていますが、引き続き早期事業完了に向け、関係者との合意形成を図っていきます。

デマンド交通については、町民の皆さんから好評をいただいておりますので、当初の目標を上回る成果が出ていますので、現在は目標を上方修正し、「たんたん号」を町民の皆さんにとってより良いものとするべく取り組んでいるところです。

2. 保健医療・福祉分野

NO.	施策	主な指標	H21	H24	目標値
2-1-1	健康増進対策の推進	(1)メタボ予防のための体重増加を防ぐための食事の注意を知っている人の割合 (2)定期的に運動する人の割合	(1)66.7% (2)36.0%	(1)71.6% (2)37.9%	(1)80.0% (2)50.0%
2-2-1	高齢者の豊かな地域生活への支援	外出にデマンド交通を利用した60歳以上の人数	27,300人	34,956人	32,760人
2-2-2	介護予防事業の推進	介護認定率(推計値からの抑制)	13.77%	15.59%	15.14%

2-3-1	障がい児・者等の生活支援	居宅・施設サービス利用者数	184人	219人	200人
2-3-2	地域福祉力の充実	コーディネーター及び相談員の人数	67人	69人	72人
2-4-1	地域における子育て支援サービスの充実	(1)子育て支援拠点数 (2)ファミリーサポートセンター設置 (3)保育園受入れ可能な児童数	(1)2箇所 (2)未設置 (3)682人	(1)4箇所 (2)設置 (3)688人	(1)6箇所 (2)設置 (3)700人
2-4-2	援護を必要とする子育て家庭への支援	(1)要保護児童ケースのうち継続的な支援を必要としない割合 (2)オレンジリボンキャンペーンの認知度	(1)57.4% (2)未測定	(1)37.1% (2)10.0%	(1)70.0% (2)100.0%
2-4-3	子育て家庭への経済的支援	児童手当の支給率	未測定	99.96%	100.0%

【分野別達成状況の概要】

健康づくり関係は、積極的な勸奨等により、健診の受診人数が着実に増加しており、それに応じて、町民の皆さんの健康に対する意識も、着実に高まってきていると判断しています。ただし、それでも国保の医療費はなかなか抑制されない状況にありますので、今後も地道に、町民の皆さんへの意識啓発を図っていきます。

高齢者・障がい者関係は、ここ数年の制度改正に適切に対応しながら、継続的な支援ができたかと判断しています。

子育て支援のハード面、あるいは経済的な支援の面においては、ニーズの動向に応じて、着実にサービスを維持することができたものと判断しています。

養育支援の面においては、家庭から発せられるSOSに対する相談支援体制を強化することが課題となっていますので、まずは関係機関の職員個々のスキルアップとネットワーク強化に、積極的に取り組んでいる状況です。

3. 自然・生活環境分野

NO.	施策	主な指標	H21	H24	目標値
3-1-1	自然環境の保全と景観形成	環境学習参加人数	1,704人	2,220人	2,000人
3-2-1	ごみ分別の推進	町民1人1日当たりの可燃ごみ排出量	333g	368g	283g
3-3-1	実効性のある防災体制の強化	全町的防災訓練の年間実施回数	1回	2回	2回
3-4-1	関係機関と連携した防犯・交通安全対策の強化	(1)年間交通事故発生件数 (2)年間刑法犯認知件数	(1)121件 (2)290件	(1)83件 (2)228件	(1)91件 (2)230件

【分野別達成状況の概要】

環境については、エコハウスを核とした積極的な環境学習の実施により、町民の皆さんのエコに対する意識も、着実に高まってきていると判断しています。一方で、可燃ごみの排出量が、目標どおり抑制されていないという数字が出ていますが、これは、野焼き等、自家焼却の減少によるものと分析しています。

防災については、東日本大震災を受け、地域防災計画の見直し、災害時相互応援協定の締結、避難所等における特設公衆電話や災害用掲示板の設置、防災行政無線テレホンサービス(今年度開始予定)など、最優先事項として施策展開を図っているところです。今後は、防災訓練等により、地域防災計画をより実効性のあるものにする取り組みを進めていきます。

防犯、交通安全については、指標が示すとおり、町民の皆さんや関係団体との協力体制により、着実な成果が出ています。今後もこの体制を継続していきます。

4. 産業経済分野

NO.	施策	主な指標	H21	H24	目標値
4-1-1	農業の持続的な発展	(1)担い手への農地の利用集積率 (2)水田の利用率	(1)44.0% (2)111.8%	(1)47.2% (2)114.3%	(1)50.0% (2)120.0%
4-1-2	安心・安全な農産物の生産	エコファーマーの認定者数	233 人	217 人	250 人
4-1-3	農村の振興	農地・水保全管理支払交付金事業及び事業完了後自主的な活動の実施地区数	10 地区	10 地区	10 地区
4-2-1	町内産業の活性化	法人町民税納税義務者数	533 者	506 者	583 者
4-2-2	優良企業の立地促進	企業立地助成制度の創設	未創設	創設検討	創設
4-3-1	町内商業の活性化	ちよっ蔵広場の利用者数	17,261 人 (※H22)	13,334 人	20,000 人
4-3-2	安全な消費生活	消費生活相談員の設置	未設置	設置	設置

【分野別達成状況の概要】

国施策に対し、水田農業確立対策室を中心に、情報を素早く農業者に周知し、関係機関と一体的に事業展開している結果として、農地の利用集積率、水田の利用率が着実に伸びていることが、大きな成果であると判断しています。

農村振興については、高根沢産にっこり梨のピューレ、高根沢ちゃんぼん等、いわゆる「高根沢町元気メニュー開発プロジェクト」が、行政と町民の皆さんの緩やかな協力体制の中で芽吹き始めています。この気運を高めていく取組みを進めていきます。

町内産業、企業立地については、具体的な制度設計が遅れている状況にあります。まずはキリンビール跡地について、関係者への積極的な働きかけを継続し、その動向をみながら、本町に合った制度を検討していきます。

消費生活については、本年度から宇都宮市消費生活センターにおいて、相談受付業務が始まりました。

5. 教育・文化分野

NO.	施策	主な指標	H21	H24	目標値
5-1-1	確かな学力の育成	学習内容定着度調査の全国平均点との比較	—	全国平均点以上達成	全国平均点以上
5-1-2	豊かな心の育成	近所の人に会ったときあいさつをする割合	82.4%	90.2%	90.0%
5-1-3	特別支援教育・不登校対策の充実	配慮を要する児童生徒に対する支援率	64.5%	86.6%	87.5%
5-1-4	健康な体づくりの推進	朝食をきちんと食べる児童生徒の割合	96.0%	96.5%	100.0%
5-1-5	学校安全指導の充実	子ども110番の家登録件数	—	354 件	400 件
5-1-6	計画的な学校施設の維持	校舎等の維持改修箇所数	—	0 箇所	累計 5 箇所
5-2-1	青少年健全育成に向けた側面的支援	団体への継続的な自立支援(支援団体数)	20 団体	21 団体	20 団体
5-2-2	学びの場の提供と担い手への側面的支援	図書館の利用者数	100,183 人	112,962 人	109,400 人
5-2-3	文化・芸術活動への支援	歴史民俗資料館企画展開催数	8 回	13 回	10 回

5-2-4	生涯スポーツ推進に向けた環境整備と担い手への側面的支援	総合型地域スポーツクラブの会員数	328人	484人	450人
5-2-5	計画的な社会教育施設の維持	社会教育施設の維持改修箇所数	—	1箇所	累計9箇所

【分野別達成状況の概要】

知・徳・体の教育及び特別支援教育は、いずれも現時点の目標を達成しており、着実な成果をあげたと判断しています。今後も、関係者との連携を密に、一貫したきめ細やかな対応を図っていきます。

生涯学習については、数字で検証することが難しい部分ではありますが、行政と町民の皆さんの緩やかな協力体制の中から様々な体験活動が実施されるなど、町民の皆さんが自発的に、自分に適した方法で自己啓発を図るための場や機会が提供されていると判断していますので、この状況を今後も維持していきます。

学校施設及び社会教育施設といったハード面については、東日本大震災により一部事業の先送りを行ったことで、進捗に遅れが出ていますが、まずは阿久津小学校校舎新築復旧工事を最優先事項として取り組んでいるところです。

今後も限られた財源の中でバランスをとりながら、着実に計画に計上した施設の改修を進めていきます。

6. 地域コミュニティ分野

NO.	施策	主な指標	H21	H24	目標値
6-1-1	町民が活動しやすい環境整備	(仮称) 志民活動サポートセンターの設置	—	未設置	設置
6-2-1	男女共同参画への意識醸成	「男女共同参画社会」という用語の認知度	—	未測定 (※H25に測定予定)	90.0%
6-3-1	町民ニーズを基準とした情報共有の推進	町ホームページへの総アクセス件数	107,503件	126,915件	156,400件

【分野別達成状況の概要】

(仮称) 市民活動サポートセンターについては、設置検討の前段として、まずは行政そして町民の皆さんともに意識醸成に注力するために、前述した「高根沢町元気メニュー開発プロジェクト」等、「行政と町民の皆さんが、一緒になって事業を行った」、そして「目に見える成果があげられた」という成功事例を、一つひとつ積み重ねている段階です。

情報共有については、年度の目標値を上回っていることから、成果を上げているものと判断していますが、今後も、町民の皆さんのニーズの動向には常にアンテナを高くしながら、より良い情報発信及び受信のあり方を検討していきます。

< 進捗状況の全体概要 >

東日本大震災における被災状況下で、復旧事業に資源(財源及び人員)を振り向けたことで、計画の進捗は、一部に遅れがみられる状況にあります。

ただし、そのような状況にあっても、災害復旧と計画執行のバランスをとり、最優先事項である「町民の皆さんの安心・安全を確保すること」については積極的に取り組み、着実な成果を上げた判断しています。

東日本大震災による環境変化や財政状況等により、全ての目標を平成27年度までに達成することは現実的に困難な状況にあります。後期計画に掲げた目標は町民の皆さんとお約束であることをふまえ、当初の予定より時間がかかっても、継続的に施策展開を図っていきます。

問合せ先: 町企画課 計画係 TEL:028-675-8102 FAX:028-675-2409
Eメール: keiei@town.takanezawa.tochigi.jp